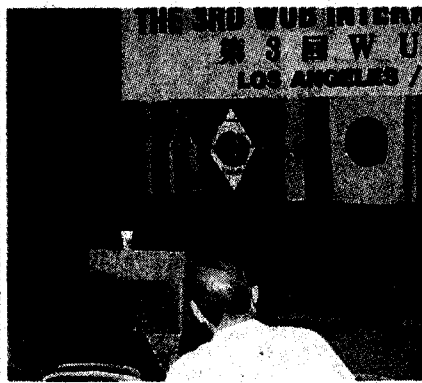


1999, 8. 19 (木)  
琉球新報

# 琉橋への挑戦

## 第3回 WUB世界大会

第三回WUB(ワールドワイド・ウチナンチュ・ビジネス・アソシエーション)世界大会では、「トライプ」(種族)の著者で知られるペリシャ語で世界に分散した人たちのこと。交通機関の発達、航空



「移民先の国でよき市民となること」が重要だ」と語るロサンゼルス市のホセ・キン教授

機、国際電話、インターネットの発達で国境は崩壊している。情報が流れ

▷3◁

る。一つは、物理的に自分の国でなく、他の国に分散しているということ。二番目は、自己認識。移民先の政府に頼らない自給自足でお互いを助け合うこと。最後にコスモポリタンとしての意識。自分自身

が、自分たちの言語を一種の暗号のように使っていた。それで、信頼関係も築かれた。ダイヤモンド産業はユダヤ人によって独占された。イスラエルは砂と岩の土地。あまりにも人口密度が高くて、分散しても、ユダヤ人であれば信

## 氏キンコト 移民先で「良き市民」に 国際的 自立と相互扶助大事

ただではなく移民が増加した。移民の波は、世界の市場や社会を変えている。エスニックな多民族のネットワークが今、重要になっている。

国際民族とはいったい何か。「オキナワン」が国際的 민족となるには何が必要か。それは三つあ

なければならない。グローバル化が進むと一面のな、一様な均一な世界になるという人もいるが、私は、はっきりと

ユダヤ人はネットワーカーをビジネスに使っていた関係はものすごく大事を許さない風土がある。

中国の移民は、ものすごい人数ではじまった。このグループは最も大きなディアスポラだ。台湾、シンガポール、タイ、インドネシアはもと

非常に増えている。中国人がどうして成功したのか。彼らは柔軟性があり経済をよく理解していることが力だ。過去の日本、中国、韓

(政経部・宣保靖)